

平成28年黒潮町消防出初式

1月10日、「平成28年黒潮町消防出初式」が行われました。

当日は天候にも恵まれ、消防団員のほか、女性防火クラブ、少年消防クラブ、消防署員など関係者約240人が黒潮消防署に集合。表彰式や消防車両の点検などの開会式典を行いました。

伊与木川での一斉放水



式典後は、佐賀地域の伊与木川（馬地橋付近）で一斉放水を行い、佐賀地域から大方地域へ車両パレード。そして、大方あかつき館から役場本庁舎まで、徒歩と車両による分列行進を行いました。

大方地域での分列行進



万が一の火災や大災害などに備え、地域の防災活動に取り組んでいる消防関係機関が今年も活動のスタートを切りました。

黒潮町消防団は、今年も、地域の安全・安心を支える活動を行ってまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。



地域防災サポーター養成講座を開催！

災害や防災対策について一定の知識と技術を持った人材を育成することを目的に「地域の防災サポーター養成講座」が12月6日から全3講座の内容で行われました。今年度は14人が全過程を修了し、地域防災サポーターとして町の認定を受けました。

第1講座では、高知地方気象台の片岡幹男さんと榎本淳一さんを講師に迎え、南海トラフ地震の仕組みや、日頃起こりやすい台風、大雨といった風水害などについての講義を受けました。

第2講座は普通救命講習。救命に関する知識と技能を身に付け行動できるよう、黒潮消防署員より心肺蘇生法とAEDの操作について学びました。

また、第3講座では、阪神・淡路大震災を兵庫県淡路島の淡路市で実際に体験された野島断層保存館副館長の米山正幸さんに、被災した直後の災害活動や、日頃の地域の繋がりの大切さなど、今後の

備えについて講話を受けました。

また、実技講習として、日本防災士会高知支部の土居清彦さんから、搬送方法やロープワーク、身の回りにある物の利用法など、実践的な技術を学びました。

南海トラフ地震では、さまざまな被害が予想されますが、一人一人の備えが大きな効果を生み、備える人が増えることで安心して暮らせる地域社会となります。

今後も同講座の開催を予定していますので、今回参加できなかった方も次の機会に参加し、災害に強いまちづくりを一緒に目指しましょう。



お問い合わせ

【本庁】情報防災課

消防防災係 ☎43-2188 (課直通)

【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第1係

☎55-3113 (直通)